

杉並区の友好都市・瑞草区
(大韓民国ソウル特別市)からの交流職員

柳 炳振さん



今年7月から12月まで杉並区区民生活部文化・交流課で研修していた柳炳振さんからお話を伺いました。「滞在中に出会ったすべての皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです」と充実した日々を過ごされていました。(広報部T)

ユニークな自治体間交流

高円寺阿波おどりやすぎなみフェスタでは、交通整理や会場案内、交流自治体の物産展のお手伝いをしました。とても良い経験になりました。12月に瑞草区で開催される杉並区と瑞草区の交流25周年行事にスタッフとして参加できることを光栄に思っています。

将来の夢

近年、さまざまな問題から韓国を訪問する日本の方が減ってしまい残念です。こういう時だからこそ、市民の交流が広がるように工夫することが大切なのでしょう。私は日本での滞在経験をいかして、市民の相互理解を進めるために何ができるかを考えていきたいと思っています。

「半沢直樹」

日本のドラマを字幕なしで楽しみたいと、昨年10月から日本語学院で日本語の勉強を始めました。すると思いがけず、杉並区への研修生の募集があったのです。熊本地震があり心配する人もいましたが、応募者が少なくなったことに私は「チャンスだ!」と思いました。

緻密で完璧な日本

瑞草区では住民センターで区民からの苦情の対応をしていました。日本人たちは区役所への要望が穏やかですね。日本では仕事の進め方がすべてにわたって緻密で完璧。でも場面によっては、韓国のゆるさが少しあった方がよいと思うこともありました。

すぎなみ交流ニュース

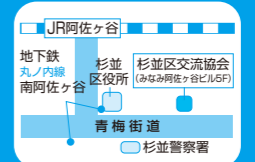
第43号
2017年1月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식
杉並的交流消息

◆発行：杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

http://www.suginami-kouryu.org/



目次

海外文化セミナー・ブータン、すぎなみフェスタ 2016 開催 2

台湾友好親善交流ツアーの報告、外国人とのコミュニケーション講座開催 3

杉並区友好都市・瑞草区職員柳炳振さん紹介 ほか 4



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いたします。



交流協会からのご案内

外国人のための無料専門家相談会

(Free Professional Consultation for Foreigners)

▶ビザ・結婚・離婚・仕事に関わる問題・年金・保険・税金に関する問題など、弁護士などの専門家が無料で相談をお受けします。秘密厳守。託児あり(要予約)。

【日時】2月25日(土) 13:00~16:00 (受付は15:30まで)
【場所】セシオン杉並(杉並区梅里1-22-32)
【専門家】弁護士・行政書士・社会保険労務士など
【通訳】英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タイ語・ベンガル語・ネパール語(予定)
【申込み】当日会場へ直接お越しください。予約も可(杉並区交流協会まで)

外国人おもてなし語学ボランティア講座

東京都在住・在勤・在学の方

▶2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や異文化理解等について学習します。

【日時】2月15日(水) 13:00~16:30
【場所】セシオン杉並(杉並区梅里1-22-32)
【対象】英語による簡単な日常会話ができる方(概ね英検2級以上、TOEIC500点以上の方)
●おひとり1回限り すでにボランティアとして登録された方は再度のお申込み・受講ができませんのでご了承ください

【定員】60名(申込順)
【参加費】無料
【申込方法】講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記載し、E-mail、FAX、電話にて杉並区交流協会まで(申込受付開始1月11日)

在住外国人この1年で13%増! 14,000人台に

外国人のサポート体制の確立が課題に!

国際化が進む中、杉並区の在住外国人数は、2016年10月末現在14,408人になりました。1年前は12,698人でこの1年で1,710人13%も増加したことになります。中でもベトナムとネパールは、いずれも30%を越す勢いです。ネパールは、5年前に阿佐ヶ谷にできたネパール人学校「エベレストインターナショナル・ジャパン」の影響、ベトナムは、近年の日本企業の進出に伴う日本語習得を目指すベトナム人留学生の増加によるところが多いとみられています。2017年は、こうした外国人が地域の中で暮らしていくための日本語習得や相談体制の充実などが課題となると考えられます。

杉並区の国別在住外国人人数(上位5国籍)

2015年	2016年
総数 12,698	総数 14,408
① 中国 3,976	① 中国 4,660
② 韓国・朝鮮 2,581	② 韓国・朝鮮 2,718
③ ネパール 1,099	③ ネパール 1,455
④ 台湾 865	④ ベトナム 1,098
⑤ ベトナム 795	⑤ 台湾 860

Event Information from SACE 交流イベント情報

- ◆国内交流自治体からのお知らせ◆
 - 小千谷フェア

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売

◇日時：1月22日(日)、2月26日(日)、3月18日(土) 11:00~13:30

◇場所：小千谷学生寮駐車場(井草4-16-23)
 - 小千谷ふるさと市場

新潟県小千谷市の特産品販売
- ◇日時：3月13日(月) 10:00~14:00
◇場所：区役所中杉通り側入口前
 - 南伊豆観光物産展

伊勢海老の味噌汁試食サービスほか、干物や海藻など南伊豆町の特産品販売

◇日時：2月6日(月) 10:00~14:30

◇場所：区役所中杉通り側入口前・1階コミュかるショップ前
 - 吾妻の朝市

群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売
- ◇日時：3月23日(木) 10:00~13:00
◇場所：区役所中杉通り側入口前
※いずれも雨天実施。物産販売は売切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。
問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。

交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

- 年会費
 - ・個人会員 1,000円/年(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
 - ・法人会員 20,000円/年
- 会員特典
 - ① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など] をお届けします。
 - ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
 - ③ イベント参加費に会員割引があります。
- 申込方法

入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

HP・Facebook 随時更新!!

杉並区交流協会 検索

第14回 日本語スピーチ大会 発表者&観覧者募集

Japanese Speech Contest 2017

第14回日本語スピーチ大会

発表者募集

日本に暮らしてみても気づいたこと、驚いたこと、自国との違いなどを学んだ日本語を使って発表してみませんか? 日本語スピーチ大会で発表していただける外国人の方を募集します。

日時：2017年3月4日(土) 午後1時半から5時まで
場所：座・高円寺B2F(杉並区高円寺北2-1-2) JR中央・総武線 高円寺駅より徒歩5分

発表時間：5分程度
発表者：10名程度

テーマ：日本に来て感じたこと、自分の国のことなど
賞品：優秀賞などの他、参加者全員に記念品

申込方法：申込書(HPからダウンロード、必要であれば協会から郵送します)を記入の上、郵送、Fax、またはE-mailなどで杉並区交流協会までお申し込みください。応募者多数の場合は事務局で選考後、1月末までにご連絡いたします。

応募締め切り：2017年1月20日(金)までにお申し込みください。

■観覧募集(募集人数：200名) 入場無料

日本で暮らしている外国の方のお話を聞いてみませんか?
外国の方が感じたこと、体験したこと、出身国のことなどについて発表します。

申込方法：氏名(ふりがな)、住所、国籍、電話、お持ちの方はFax番号を記入して、電話(またはハガキ、Fax、E-mailなど)で杉並区交流協会までお申し込みください。



ブータン



2016.11.26 / 於：高井戸地域 区民センター

「幸せの国」ブータンに暮らす人々の生き方を様々な交流の経験談を通して、その理解を深めることができました。

●ブータンに関する書籍コーナー



●特産品や珍しい工芸品の販売

▶講演会は二部構成で進行了。前半は、今年7月にブータン政府観光局主催プロガーツアーでブータンを訪れた写真家の横田裕市氏とカリスマプロガー・AKI氏お二人のトークでのブータン紀行でした。横田氏の撮影した印象的な珍しい風景や祭事そして生活感あふれる写真とその説明、そして折に触れAKI氏の道中での新鮮な発見などが添えられ、参加者は楽しいブータンとの出会いができたように思いました。

●ブータンからの留学生、JICA OB・OG



後半は「「幸せの国」ブータンに暮らす人々の生き方」というタイトルでの写真家の関健作氏による講演でした。関氏は23才でJICA青年海外協力隊の体育教師として3年間ブータンで教育活動に携わり、そんな生活環境から様々な影響を受け、現在に至っていることを紹介。そして子供やその他の人々

との交流を通して受けたブータンの国と国民の印象を映像を交えて講演しました。

とりわけ教育現場から発見したブータンの子供達の豊かな資質について、ブータンならではの場面の具体的な紹介がありました。その経験に基づくお話から私たちはブータン国民の姿を彷彿とさせられた次第ですが、さらに関氏は、人々の生き方を5つの特徴でわかりやすく説明。1.やさしい人をめざす 2.サバイバル能力の高さ 3.自分のペースで生きる 4.つながり(人と人)が強い 5.「幸せ」を基準にした国づくり。これらの特徴がしいては「自分たちの幸せを追求する国ブータン」と言えるのではないのでしょうか、と関氏は講演を締めくくりました。ブータンという国は、日常ではなかなか身近に感じる機会がありませんが、そのユニークな国をあげての取り組みは、日本のみならず世界中の多くの人の心に残る、小さな国の一つの豊かな在り方を知らせています。(広報部Y)

●関氏の写真展コーナーから



●見る側もつい笑顔になっちゃいます



●大自然の神々しさ



●魂の故郷を思わせてくれる

▶当日は、独特なカラフルな色彩で彩られた展示や物販のスペース、そしてステージ前には、講演を聴く座席が配置された会場へと、ブータンの民族衣装の若者たちが出迎えてくれました。そして開場からほどなく、ブータンへ関心をもった参加者たちが思い思いのコーナーへと向かい、民族衣装を囲みながら、私たちの「着物」とルーツが同じではと、遠く想像の世界にも話題を弾ませたり、ブータンの「食」、「工芸」、「観光」の紹介と販売のコーナーでは、ヒマラヤ山脈を背景にした生活や文化への思いを馳せるといった和やかな雰囲気が広がりました。

●横田裕市氏とAKI氏による紀行トーク



●民族衣装が似合う関健作氏



●ブータン人の幸せを式で表すと

幸福 = 財産 / 欲望
また、GNH is more important than GDP が国づくりの基準と紹介 (GNH:国民総幸福 GDP:国民総生産)



●熱心に聞き入る参加者

主催/杉並区交流協会 共催/杉並区 後援/外務省、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、日本ブータン友好協会 協力/ブータン政府観光局、公益社団法人青年海外協力協会 (JOCA)、GNHトラベル&サービス、Bhutan Fortune、地球の歩き方、旅の本屋のまど、ドゥルックエア-日本代理店 (A&Tm)

すぎなみフェスタ2016開催 好天に恵まれ来場者10万人超

於：桃井原っぱ公園他

毎年恒例の杉並区の一大会「すぎなみフェスタ2016」が、11月5日(土)・6日(日)に開催されました。今年は両日ともに好天に恵まれ、来場者は10万4千人と初めて10万人を超えました。

杉並交流協会は、今年も「インターナショナルカフェ」を出店、ホットワインやサングリアなどの飲み物を販売しました。当日は、日本人のボランティアや留学生、区在住の外国の方などがお手伝いとして参加。民族衣装風のコスチュームを着

て元気に呼び込みなどを行ってくれました。値段もお手頃とあって、昼時には列ができるほど賑わいました。

店内には「外国人案内所」も設置。フェスタを訪れた外国人に情報を提供するなど、新しい交流の輪を広げました。

会場では様々なイベントが開催されたほか、ショップ、グルメ、展示、遊び場など杉並の美味しいもの、楽しいものがたくさん集まり、一日中子供から大人まで多くの人で賑わっていました。(広報部I)



台湾友好親善交流ツアーの報告

八田與一のダムに感激し、映画「KANO」の足跡を訪ねる!

11月10日から13日にかけて杉並区交流協会の台湾友好親善交流ツアーが行われました。参加者は34名。1日目は成田から台湾の桃園空港へ。そこから台湾新幹線で台南に、夜は台南の夜市に行きました。2日目は、戦前、干ばつで苦しむ嘉南平野にダムを作り穀倉地帯にした八田與一のダムを見学に行きました。八田與一は今でも台湾の教科書に載っており、八田與一の官舎が当時のままに保存され、資料館も作られ大



八田與一のダム



「KANO」記念館

きな記念公園になっています。丘の上にはダムの完成を思案する八田與一の銅像があり、そこには花束が供えられており、いまなお多くの人々が見学に訪れていました。その後、嘉義に移動、昭和7年に甲子園で準優勝した嘉義農林学校を描いた映画「KANO」の舞台、現在の国立嘉義大学のKANO記念館を訪問しました。

「台湾・杉並友好親善の集い」に参加! 台湾雑技にうっとり!



台湾雑技

3日目は、日月潭の湖を見て台北に移動。杉並区と文化芸術の交流宣言を取り交わしている国立台湾戯曲学院を訪問し、台湾雑技を鑑賞しました。その素晴らしい演技に一同大感激しました。夜は、「台湾杉並友好親善の集い」に出席、2011年以来中学生の野球交流等でお世話になった台湾の関係者と共に友好親善のパーティを行いました。途中で台湾側と杉並区の民間レベルの関係者による「台湾杉並友好会」の宣言書の交換、杉並区のジャズ歌手小田陽子さんの歌なども行われました。4日目は、戦争中に爆撃で壊されたのを戦後台湾の人々が復元した台湾総統府や世界有数の高さを誇るビル台北101などを見学し日本に戻りました。普通のツアーでは味わうことのできない台湾の姿を実感した4日間でした。



総統府での記念写真



友好親善パーティ

外国人とのコミュニケーション講座

「やさしい日本語」「やさしい英語」によるコミュニケーション講座を立教女学院短期大学で開催

11月2日(水)と9日(水)、交流協会は、立教女学院短期大学のサービ斯拉ーニングの授業で、「やさしい日本語」と「やさしい英語」によるコミュニケーション講座を日本語教師 深田みのり氏と共に行いました。サービ斯拉ーニングとは、社会において必要とされるコミュニケーション力を実践的に高めることを目的とした授業です。

11月2日(水)は5名(カナダ、ロシア、イラン、インド、ギリシャ出身)、9日(水)は4名(イギリス、フランス、韓国、中国出身)の交流協会の外国人ボランティアが、授業をサポートしました。講義に続いて、学生2、3名と外国人1名のグループに分かれ、自己紹介、ごみの問題や日本で生活する上で難しいと思うことについて、「やさしい英語」または

「やさしい日本語」で会話をしました。外国人は、15分毎に交替するので、学生は一回の授業で4、5名の様々な国籍の外国人と対話できました。参加した外国人は、英語が母国語の方もいれば、そうでない方もいて、発音や訛りも様々です。また、来日2か月から在住10年以上と、日本語レベルも異なります。「やさしい英語」では、学生は、英語でわかりやすく簡潔に伝えるという課題に取り組み、「やさしい日本語」では、相手の日本語能力に配慮して、理解できているか思いやりながら会話を進めるという課題に取り組みました。学生も外国人もジェスチャー、アイコンタクトをフル活用して積極的に取り組み、また会話の中では生活者としての外国人の本音も飛び出し、とても充実した時間となりました。



＜学生からの感想＞

- ・日本語で、ゆっくり、簡潔に伝えるのは、思った以上に難しかった。
- ・相手の反応を見ながら進めて、互に通じたときはとても嬉しかった。

＜外国人ボランティアからの感想＞

- ・ゆっくり、やさしい表現で日本語を話してもらえるのはありがたい。
- ・日本では様々な背景を持つ外国人が増えています。顔をただで、言語や国籍が判断できない時代が来ると思います。どうコミュニケーションを取るかがとても大切になるので、コミュニケーション教育に力を入れているのは素晴らしいです。